

2023 年 9 月 13 日

## 2023 年 8 月度市況

東京洋紙同業会（紙青会作成）

### <印刷用紙 A>

平判は学参関係の動きがみられたものの、小ロット案件が中心で大口案件が減少しており前年を下回った。

巻取は学参テキスト、生損保、チラシに動きがあり前年を上回った。

（前年比 平判 89.2% 巻取 115.6%）

再生紙平判は入札案件が増えつつあるが、在庫不足もあり前年を下回った。

再生紙巻取は定期案件以外の仕事に動きがみられず、前年をやや下回った。

（前年比 再生上質平判 93.8% 再生上質巻取 98.9% 再生上質計 97.1%）

（前年比 印刷用紙 A 全体 94.2%）

（2019 年比 印刷用紙 A 計 76.1%）

### <A2 コート>

平判はインバウンド、国内旅行案件、大学パンフレット、イベントで一部動きがみられたが、金融、生損保、製菓で目立った動きがなかった。また雑誌の部数減、ページ減、廃刊の影響が大きく、グロス、マット共に前年を下回った。

巻取は通販、食品デリバリー、不動産で一部動きがみられたが、引き続き学習塾、金融、生損保の大きな落ち込みや雑誌の落ち込みが続いており、グロス、マット共に前年を下回った。

（前年比 平判 85.8% 巻取 83.2% 全体 85.2%）

（2019 年比 A2 コート計 70.7%）

### <A3 コート>

ドラッグストア、スーパー、不動産、旅行パンフの定期案件やスポットのチラシ案件の動きが乏しく、平判、巻取共に前年を大幅に下回った。

（前年比 平判 86.2% 巻取 62.3% 全体 68.6%）

（2019 年比 A3 コート計 69.0%）

### <ノーカーボン紙>

Web 化の動きがある中、歳末商戦申込書の動きは見られたが、中古車販売店の不祥事で損保の帳票が止まっているものもあり、巻取は前年を大幅に下回った。

（前年比 平判 95.4% 巻取 85.7%）

#### <上質フォーム>

例年、夏場の閑散期に定期品帳票の在庫積み増しが行われていたが、アイテム数減や Web 化による数量減で在庫調整の動きが見られなかった。また案件も少なく、大手の内製化により市中の仕事量が減少し前年を大幅に下回った。

(前年比 68.6%)

#### <包装用紙>

コロナの 5 類移行以来、関連する封筒の減少が続いている。また一般企業向け封筒の荷動きが全く見られず、特殊両更(前年比 61.2%)、片艶晒(前年比 49.9%)、両更晒(前年比 86.5%)と各分野とも前年を大きく下回った。

軽包装は 7 月に引続き、製本会社向け雑包装用途の動きが鈍く、前年を下回った。

(前年比 84.3%)

純白ロールはスーパーマーケットの包装紙で一部動きが見られた。一方で贈答用の包装紙は上質紙へ移行している傾向もあり前年を下回った。

(前年比 89.6%)

包装紙全体でも 78.6%と前年を大きく下回った。

#### <板紙>

コートボールは菓子、土産、日用品の製品値上げの影響が大きく軒並み低調であった。

高板はトレーディングカードが好調なものの商印、出版需要は回復せず全体的には低調であった。

特板は今秋に大手食品会社の値上げをひかえ一部在庫調整の動きが見られたが、ファストフードは安定した動きであった。

チップボールはエンタメ系ライブ DVD など一部で動きが見られたが玩具、梱包材が振るわず低調な動きであった。

(前年比 93.7%)